あの街 この町

〈その2〉南八幡・平田・新田

◎南八幡

南八幡は総武線以南の地域で、大正時代に耕地整理によって水田が整えられたところです。

一丁目＝北部は宿下、南部は東側を東中割、西を西中割といいました。

二丁目＝2・1・3号線を狭んで、東が大成、西の火葬場のあたりが明整、自動車教習所の一角は稲荷木の西芦畔の一部です。

三丁目＝北東部の1番と10番は宿下に含まれ、他の全域は東耕地といいました。

四丁目＝全域が西耕地です。

五丁目＝ほぼ中央から東を市川新田飛地の八幡下、西を二番割といいました。

◎平田

その昔、千葉氏の一族である平田氏が居館「平田城」を構えたところといいます。

一丁目＝1・2・3番は、菅野から入りこんできた西割、4～9番までは宮城戸といい、また、電報電話局を中心に東西に延びた地域を田上、田上の南は東から前耕地、一番割、分高谷の各北側が含まれています。

二丁目＝菅野駅の東から国道に出る道路を境に東が太子前（聖徳太子の廟があった）、西が宮前（諏訪神社の前の意味）で、23・24番の一部は菅野の市坪に入ります。

三丁目＝東から前耕地、一番割（県立市川工業高校から南）、分高谷（工業高校の校庭と平田小学校の南にかけて）が並んでいます。

四丁目＝三丁目に続いて東側から前耕地、一番割、分高谷が並んでいます。

◎新田

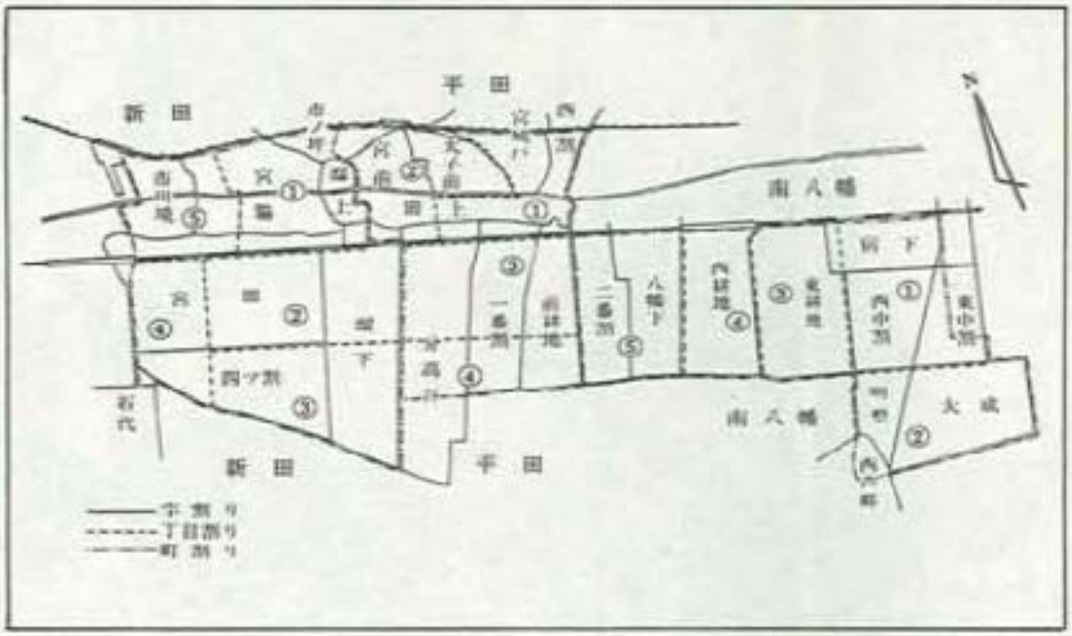
新田はその名が示すとおり、江戸時代に開発された地域で、市川境にある地蔵山には開発者田中氏の霊が祠られています。

一丁目＝4・5番は菅野の市坪です。胡録神社の東側、国道を狭んだ地域を溜上、20番の一部には田上が入りこんでいます。西部は宮脇で、南の21番は溜下、西が宮田です。宮田は神様に奉納する稲を作る田、つまり神田のことです。

二丁目＝郵政省宿舎東側の通りから東を溜下、西が宮田です。

三丁目＝二丁目に続いて東が溜下、西を四ツ割といいました。

四丁目＝北部が宮田、南部が四ツ割で、18番は市川新田の飛地石代の一部です。

五丁目＝南部は宮田、国道を狭んで吉田病院西側の道路を境に東側が宮脇、西側は市川境で、一部が市川一丁目に入り込んでいます。

次回は市川南・市川・真間です。